

名の崎物語

第 111 号
令和 7 年 3 月 1 日
発行
茨城県古河市
名の崎会広報部会



ご挨拶 2025年巳年

名の崎会会長 染野 則夫

名崎にお住まいの皆様、名の崎会に対しましてご支援ご協力を賜りまして誠に有り難うございます。衷心より感謝申し上げます。

遅ればせながら、本年もどうぞ宜しくお願いします。

昨年は、8月に名の崎まつり、9月グラウンドゴルフ大会、11月ファミリースポーツ大会、そして12月サント宅配と多くの皆様に参加、ご支援、ご協力いただき、楽しみ、ふれあい交流を深めていただきました。有り難うございます。

また、本年1月19日名の崎会・第20地区名崎区長会共催の自主防災訓練も早朝より寒い中、昨年に匹敵する参加数「最終集計 445名」と名崎地区の皆様の防災に対する関心度の高さの表れと主催者として深く感謝申し上げます。

尚、自主防災訓練は下記内容にて実施されました。

まず、西南広域消防三和分署関口分署長はじめ署員の皆さん、そして女性消防団のご協力により、さらに地元、名崎小学校、三和東中学校、名崎小・三和東中の各PTA、名子連、交通安全協会、女性連、地区自治消防25、26、27消防団、行政区長、名の崎会、名崎にお住まいの多くの皆様の参加、ご協力をいただき防災訓練が挙行されること深く感謝いたします。

さて、災害は、地震、火災、台風など、それらに起因する、大津波、火災、水害など、生命、財産に甚大な被害を及ぼします。又、何時起きてもおかしくない。日本は災害大国です。

この防災訓練の目的は、

一つ、生命・財産を守る

二つ、防災、減災少しでも災害を少なくする

三つに、相互扶助・助け合い、イザ、災害発生時に、地域、職場での助け合いの精神を育むことが出来る。

訓練の重要性は、

一つは、反復繰り返しの訓練、体験により、正しい知識

の積み重ね、災害時に、冷静に正しく適切な行動が出来るようにする事です。出張、旅行など出かけている場合の備えにもなります。

二つは、一人でも多くの皆さんが参加して訓練体験することで、地域全体の防災意識、連帯意識が高まり、支援協力体制も整いやすく、安心、安全の街作りに役に立ちます。

訓練の内容

①関口西南広域消防三和分署長の防災講話、②AED(心肺蘇生・救急訓練)、③スモーク体験、④拠点機能形成車見学、⑤はしご車体験、⑥消化器使用体験、⑦一斉放水、⑧防災グッズ作成コーナー、⑨終了後の炊き出しトン汁の振舞、⑩ハザードマップを体育館入り口付近に貼り付け展示しました。万が一洪水の場合の避難経路の確認用です。

特に、はしご車は、搭乗体験希望者大人気となり、当初予定時間を大幅に延長、消防署のご厚意により全員体験、皆さん感激感動大喜びでした。

終了後、名の崎会役員の皆さんが、前日より準備し大釜で作りましたトン汁を、おかわり自由、食していただき大変美味しかったと皆さんに喜んでいただきました。

お帰りに、非常食の配布、コミュニティの事業のお知らせ及び電話詐欺等の啓発チラシを合わせてお配りしました。電話詐欺は一人で悩まず、警察通報、あるいは家族などに相談です。気をつけてください。

怪我人もなく、天候にも幸いして十分に訓練、体験していただきました。自主防災訓練は、継続して、毎年続ける事が、体験・経験の積み重ねにより、イザッ、災害発生時に、落ち着いて適切な行動・活動に繋がります。多くの皆様の参加をお願い致します。

名の崎会、区長会へのご支援ご協力、重ねてお願い申し上げます。

地域とともにある学校づくりを目指して 三和東中学校長 安達 恵子

将来を担う子どもたちには、必要な力を身に付け、豊かな人間性を育むことが大切です。そのためには、学校だけでなく地域全体の中で子どもたちの学びや成長を支える取組を進める必要があることから、古河市では市内全小中学校に「コミュニティ・スクール」(学校運営協議会制度)を導入しております。本校の学校運営協議会では、名の崎会 染野則夫会長をはじめ、地域住民を代表する皆様に協議会委員としてお集まりいただき、学校運営や教育活動に必要な支援について協議を行っております。

名の崎会の皆様には、「名の崎まつり」や「ファミリースポーツ大会」、「自主防災訓練」等の活動を通して、子どもたちが地域と関わり、社会性を身に付けるために大きな役割を担っていただいております。今後も名の崎会、地域住民の皆様と力を合わせて学校運営に取り組むことで、「郷土に誇りをもち、たくましく生きぬく子」の実現を目指してまいります。来年度も引き続き、名の崎会、地域の皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

2024 第22回 名の崎会グラウンドゴルフ大会

9.29 参加者81名



団結と協調の勝利！ グラウンドゴルフ大会団体優勝 下尾崎二！ 下尾崎二行政区区長 永井 行男

団体優勝に貢献された皆様の日々の努力と研さんに敬意を表します。

健康習慣と人とのつながりを大切にされ、孤立しないで気力を持って生活しています。背筋がピンと伸びて姿勢がいいので、実年齢よりも若く見えます。

「暑いから」「寒いから」「面倒だから」と家に閉じこもることがないような生き方は名崎地区の方々にも大いに参考になり、学ぶものがたくさんあります。

笑って生きている

よく笑う人には不思議と道が開けます。【笑う門には福来たる】楽しそうな雰囲気や笑顔には自然と人が集まってきます。気のせいかもしれませんが、女性は男性よりよく笑っているように思います。明るさ・笑顔は皆さんの宝です。

人とのつながりを大切にしている

様々な人と関わり、つながりの中で喜びや生きがい、愛情を見つけています。大きな声でおしゃべりすることで滑舌が良くなり心肺機能が鍛えられ、血のめぐりも良くなって新陳代謝が活発になるのでしょうか。友達は皆さんの財産です。

自分らしく楽しんでいる

自分の性格やライフスタイルに合った日課で一日を大切に過ごしています。年を重ねて老いることを嘆くわけでもなく、場が楽しくなるように和ませて、余り年齢のことを気にしていません。年齢を感じさせない皆さんは素敵です。

優勝の喜びと感謝

下尾崎二行政区 鈴木 昶四郎

名の崎会の役員の皆様、実行委員の皆様、早朝より準備ありがとうございました。

私は、グラウンドゴルフを始めてから二十八年になります。今迄名の崎会では何度か優勝しましたが、今年で八十八才になり、優勝できた事は、とても嬉しい事です。

グラウンドゴルフは「いつでも」「どこでも」「だれでも」できる生涯スポーツとして、素晴らしいスポーツです。私が元気でいられるのも若い皆さんと一緒にグラウンドゴルフをやっているからだと思います。

これからもグラウンドゴルフを通し、人と人とのつながりを大切に続けて元気でいたいと思います。又グラウンドゴルフ愛好者が増える事を願っています。

皆々様本当にお世話になりありがとうございました。

★最幸シニア★



下尾崎一行政区 田宮 美代子様

今日は、皆で話し合えたので、家に一人でのより楽しくてとても良かったです。

グラウンドゴルフ大会 上位成績

個人成績

優勝	鈴木 昶四郎 様	(下尾崎二行政区)
準優勝	小島 進 様	(丸山行政区)
第3位	山腰 栄 様	(下尾崎一行政区)

団体成績

優勝	下尾崎二行政区
準優勝	下尾崎一行政区
第3位	間中橋行政区



第19回 2024.11.23 参加者310名 ファミリー スポーツ大会



総合優勝
加下間行政区

準優勝
下尾崎一
第三位
下尾崎本
敢闘賞
本田山

種 目	優 勝	準 優 勝	第 3 位	敢 闘 賞
ソフトバレー	下尾崎一A	加下間C	加下間A	加下間B
ドッジボール	間中橋南	下 内	加下間A	加下間B
なわとび (団 体)	加 下 間	下 内	下尾崎一	
なわとび (個人・低学年)	中沢 侖太	清水菜々美	森 凌久	清水 陽日
なわとび (個人・高学年)	染野 風紗	内海 希愛	大木 心結	菅原 希
輪 投 げ (団 体)	下 内 B	加下間D	間中橋A	下 内 A
輪 投 げ (大人の部)	田畑 香織	栗田 静	佐野 敏夫	赤荻百合子
輪 投 げ (子供の部)	大谷 海翔	染野 和佐	森 凌久	菊地 結空

ファミリースポーツ大会 総合優勝 6連覇達成!! 加下間行政区区長 中沢 敏徳

11月23日に名の崎会主催のファミリースポーツ大会が風が強く非常に寒い中三和東中で開催されました。

当日は、加下間行政区では、班長・子ども会役員等から多くの方に声掛けをして、昨年を超える総勢86名で全競技に参加いたしました。

結果は、子供たちの活躍（縄跳び優勝）やソフトバレーの上位入賞（2位～4位）もあり6連覇を達成することができました。

スポーツ大会終了後は、地元に戻り、コロナ禍前に行っていた慰労会を久々に開催し、子供から年配者まで一堂に会し、親睦を深めることができました。

三世代のスポーツ大会は、世代を超えた連帯意識や行政区内の一体感もできたことと思っております。

今後も工夫を凝らしたファミリースポーツ大会を開催していただき、また、多くの住民の皆様が個人でも参加していただけることを願っています。

最後になりますが、今大会を開催していただきました名の崎会役員の皆様、また、「けんちん汁」と「おそば」を提供していただきました役員・有志の皆様に感謝いたします。ありがとうございました。

6連覇おめでとう!



えいっ



グラウンドゴルフ体験 入るかな



チームワーク



名人



記録に挑戦



ドッジボール

寄付について

おそばの売り上げの一部を地元の名崎小学校と三和東中学校に寄付させて頂きました。

将来の名崎を背負う子ども達の為に使ってください。



名崎小へ寄付



東中へ寄付



1/19

自主防災訓練 参加者 445 名



西南広域消防
三和分署分署長
関口 靖 様

巨大災害から住民の命と生活を守るためには、自分たちの命は自分たちで守るという「自主防災」あるいはコミュニティに根差して取り組むという「地区防災」が不可欠です。

この自主防災の中心的な役割を担う自主防災組織は、非常時においては即時即応ということで、地域をよく知っているからできる「細やかな対応」、現場の近くにいるからできる「迅速な対応」というメリットを持っています。日常時は隣保協同で顔の見える関係を通して「支えあう絆を育むことができる」、地域密着の取り組みを通して「安心できる環境を創ることができる」というメリットを生かしつつ、コミュニティだからこそできる取り組みを推進し、地域密着でしかできない活動を展開していただければと思います。

災害への備えを考えると、「自助」「共助」「公助」があり、「自助」とは、災害が発生したときに、まず自分自身や家族の身を守ることです。

「共助」とは、地域やコミュニティといった周囲の人たちが協力して助け合うことをいいます。

「公助」とは行政や消防、県や警察、自衛隊といった公的機関による救助・援助です。「公助」だけでは大規模災害の場合、救助・援助する側の人手が到底足りません。このことから自助と共助が必要になり、連携が不可欠です。この自主防災訓練に参加している方については、「自助」と「共助」になります。

東日本大災害では、『津波てんこでんこ』……地震が来たら直ぐに高い所に避難するという伝承を守り、釜石の子ども達は、自らの命とまわりのお年寄りや幼児の命も守りました。避難所の清掃、避難住民の名簿づくりなど、避難後の生活にも貢献したことで知られています。

火の取り扱いに気を付け、火災にならないよう注意してください。

「野焼きをやめよう!!」



いざという時のために



とん汁「おいしくなれー」



とん汁大盛況



ハシゴ車 大空へ



煙体験



気分は消防士



大勢参加してくださいました



中学生もお手伝い ゴミ袋でポンチョ作成



未来の消防士?

名崎サンタ宅配便 2024

12月22日、今年も（よく見ると生活部会員に見えますが）サンタクロースが名崎地区に笑顔をお届けにきました。今年は男の子16人、女の子15人がプレゼントを受け取りました。「サンタさんが来たー」と喜ぶ純粋なお子さんたち。その笑顔を見て逆に元気をもっているサンター同、大人たち。名の崎会の素敵なイベントです。





三和東中二年生 渡邊 佳穂

洪水や地震などの自然災害は人間の力ではどうにもならないものですが、今日見学した『首都圏外郭放水路』は自然災害に少し勝てたような気持ちになれる、そんな場所でした。安心して生活するために、ずっとこの先も活躍して欲しいです。

放水路の中を見学しましたが、少し不気味さを感じるくらい壮大な見た目でした。百段以上の階段は大変でしたが良い経験になりました。

ありがとうございました。

三和東中一年生 渡邊 葵衣

普段できない経験がたくさんできました。万が一洪水が起きた時に、『外郭放水路』という便利な場所がありとても安心しました。

わたしが小学校のころは新型コロナウイルスがはやっていたので、社会科見学などがぜんぜんできませんでした。だから今日はとても貴重な経験になりました。

災害について家族や友人と話し合ったりできるきっかけにもなると思います。

本当にありがとうございました。



ふむふむ



なるほどねえ



高さ18メートル



地下神殿



施設の隣の川、ここへ水を戻します



高さに圧倒されてます



説明うけてます



排水の仕組み



しっかり学びます

この部分には地元協力者の広告が掲載されています。